

## 日本サービス・ラーニング・ネットワーク主催

### 第5回「サービス・ラーニング全国フォーラム」のご案内

#### テーマ：学びの深まりを促すためにパートナーシップの構築はどうあるべきか

新型コロナウイルス感染症の拡大は、今なお、われわれの生活に大きな影響を及ぼし続けています。サービス・ラーニングも、コロナ禍に大きな影響を受けました。多くの移動制限は、われわれの研究活動を不自由なものとするだけでなく、何よりも、社会における体験を基盤に成立するサービス・ラーニングは、体験なしのサービス・ラーニングの計画・実施という重大な困難性に直面することになりました。

いま求められていることは、「学びを止めない」ことです。子ども・若者の学びはもちろんですが、われわれの学びにとってもそれは重要なことです。「学びの保障」のため、ここに全国フォーラムを2年ぶりに開催させていただきます。

今回の第5回大会では、「パートナーシップ」をテーマに設定しました。関連する言葉に「連携」がありますが、ここでは「パートナーシップ」をそれとは異なる意味から捉えることにします。“partnership”の日本語訳としては、「協働」が適切であると考えます。表面的・部分的・一方的な連携ではなくて、本質的・全体的・双方向的な協働を、サービス・ラーニングでどのように構築していく必要があるのでしょうか。また、その結果として生み出される互恵的な学びの深まり中で、子ども・若者、学校、地域はそれぞれどのように成長・発展を遂げるのでしょうか。いくつかの事例発表に基づき、シンポジウムで集中的に協議したいと思います。

シンポジウムに続いて実施される分科会では、二つの内容を用意しました。第一に、2021年で発生後10年を迎える「東日本大震災」の教訓を忘れることのないように、震災・災害とサービス・ラーニングの関係性を協議する場を設けました。そして、第二に、実践・研究交流として、日本におけるサービス・ラーニングの実践・研究の発展を期して、全国フォーラムでは初めて、自由実践・研究発表の要素を有する分科会を企画しました。

オンライン開催という依然として制限された開催となっておりますが、多くの方の参加と活発な協議によって、サービス・ラーニングのネットワークをより緊密なものとするとともに、その拡大に努めたいと考えています。みなさんのご参加を、心よりお待ちしております。

日 時：	2021年5月23日（日）10:00～15:30（終了後16:30まで交流会）
会 場：	Zoomオンライン開催
主 催：	日本サービス・ラーニング・ネットワーク
申込方法：	下記Web申込フォーム、QRコードからお申込みください。 <a href="https://forms.gle/BqXftoRa7QFPmLUf7">https://forms.gle/BqXftoRa7QFPmLUf7</a>
参加費：	JSLN会員 無料、一般非会員 2,000円 一般非会員の方は、下記口座へ参加費（＋手数料）をお振り込みください。 ゆうちょ銀行【日本サービス・ラーニング・ネットワーク】 店名：〇ー八（ゼロイチハチ）／店番：018／預金種目：普通預金 口座番号：7264312 申込・ご入金済の方へ前日までにZoom URLをご案内します。 尚、ご入金後の返金は致しかねます。ご了承ください。
申込〆切：	2021年5月16日（日） <b>5/19（水）に〆切延長</b>
問合せ先：	<a href="mailto:japanslnetwork@gmail.com">japanslnetwork@gmail.com</a>



## 第5回 サービス・ラーニング全国フォーラム プログラム

9:50	<b>ログイン受付開始 (Zoom)</b>
10:00-10:10	<b>開会</b> 挨拶：市川享子（東海大学） 司会：石筒 寛（高知大学）
10:10-12:10	<b>全体シンポジウム</b> 『学びの深まりを促すためにパートナーシップの構築はどうあるべきか』 サービス・ラーニングにとって「パートナーシップ」が重要なことは、誰もが承知していることである。しかし、それを築くことは容易なことではない。パートナーシップは、どのような点に留意し、どのような形で築かれるべきか。学びの互恵性を保障するパートナーシップの築き方について考えてみたい。 シンポジスト 武田直樹（茨城大学） シンポジスト 渡邊暁子（文教大学） シンポジスト 宮崎猛（創価大学） コーディネーター：唐木清志（筑波大学）
12:10-13:30	<b>休憩</b> 12:20-12:50 JSLN総会開催 12:50-13:05 JSLN理事会開催
13:30-15:00	<b>分科会</b> <b>第1分科会「東日本大震災10年へのリフレクション～風の人から土の人となったサービス・ラーニング受講生と共に」</b> コロナ禍を経て現場にて五感で学ぶサービス・ラーニングのプログラムの展開は困難となりました。そうした中、東日本大震災の発災後、距離を越えて心を寄せた実践が各地で重ねられました。中には当時は学習者として現地を訪問し、その後にサークルを立ち上げて活動を継続し、さらに現在は地域人として学習・実践の企画・コーディネートに取り組んでいる人がいます。発災から10年、改めて学習と活動の互恵性はいかにもたらされうるか、現場に根ざした人々の語りから探ります。 報告者 西崎芽衣（一般社団法人ならはみらい） 報告者 森亮太（mogra/グラフィックデザイナー） 報告者 森雄一朗（一般社団法人ならはみらい）ほか コーディネーター 山口洋典（立命館大学） ※東日本大震災を含め、復興支援に携われてきた方々の参加・発言を歓迎します。 また、ご参加の方は事前に以下の動画をご覧ください。幸いです。 「そよ風届け隊」×「チャレンジ、ふくしま塾。」4人の校友が語る福島の復興（2020年、立命館大学校友会・立命館災害復興支援室作成、15分51秒） <a href="https://www.youtube.com/watch?v=Oach_wvPaIE">https://www.youtube.com/watch?v=Oach_wvPaIE</a> <b>第2分科会「実践・研究交流」</b> サービス・ラーニングに関わる実践や研究を持ちより会員間で交流を深めます。会員が蓄積している実践や研究、コロナ禍での新たな試みなどを持ち寄りながら、サービス・ラーニングの今と未来について語り合います。 報告者 馬場光志（追手門学院大学） 「サービス・ラーニングコーディネーターによる教育実践」 報告者 長谷川愛（関西学院大学大学院） 「卒業生のライフストーリー再考から学びの深化を促す要因」 報告者 福原充・大森真穂（立教大学サービス・ラーニングセンター） 「コロナ禍におけるサービス・ラーニングの実践報告：運営スタッフの視点からみた課題を中心として」 コーディネーター 倉本哲男（横浜国立大学）
15:10-15:30	<b>全体共有・閉会</b>

※フォーラム後に参加者同士で交流する「フリーセッション～感想交流と今後の展望を語る」を開催します。時間は15:30-16:30の予定です。こちら、是非ご参加ください。